

規制・制度改革の今後の進め方について（議論用ペーパー）

1. 有識者等の意見

- 有識者等から、分科会の進め方に関し、以下のような意見が寄せられている。
 - ・単に項目を追うだけでなく、経済社会活動と規制・制度の在り方や今後の検討の方向性などについての初期議論が必要。
 - ・分野や議論する項目を絞り、骨太な課題に取り組むべき。
 - ・改革を一層推進するために、もう一段高い見地から制度論等について議論すべき分野が多くなっている。
 - ・繰り返し同じ見直し要望が寄せられている規制・制度があるため、効果的なフォローアップが重要。
 - ・案件によっては、長期にわたる検討を行うべき。
 - ・引き続き専門的な個別の改革要望が寄せられているため、従来型の取組も一方で重要。

2. 改革の視点

- 規制・制度改革に関する取組方針について、まずは大局的・基本的な議論を行い、その後、改革の対象とする分野や切り口、改革を進める仕組み、すなわちアプローチの検討を行うという手順を踏むことが重要ではないか。
- 各省による政策決定プロセスそのものに踏み込むなどのもう一段高い見地からの議論、あるいは新たな視点が必要ではないか。
- 効果的なフォローアップの方法を検討する必要があるのではないか。

3. 分科会の当面の進め方（予定）

- 第3クール1回目：10月3日（月）【本日】
 - ・これまでの規制・制度改革の取組について（事務局）
 - ・規制・制度改革の今後の進め方について（事務局）
 - ・意見交換
- 第3クール2回目：10月中旬
- 第3クール3回目：10月下旬
 - ・アプローチの具体的検討
 - ・意見交換
- 第3クール4回目：11月上旬
 - ・まとめ
 - ・（必要に応じ）WG設置を決定